

目 次

I. 和歌山大学岸和田サテライトについて	1
1. 岸和田サテライトの紹介	1
2. 2つの受講制度	2
II. 大学院科目等履修生の募集	4
1. 出願および履修願の手続き	4
㊦履修願	6
III. 学部開放授業受講者の募集	7
1. 聴講申請の手続き	7
IV. 令和4年度前期 岸和田サテライト開講授業	9
1. 大学院授業科目	9～12
2. 学部授業科目	13～15

I. 和歌山大学岸和田サテライトについて

1. 岸和田サテライトの紹介

和歌山大学岸和田サテライトは、岸和田市をはじめとした大阪府泉州地域における住民主体の地域づくりと次代を担う人材育成に取り組んでいます。

和歌山大学は、大阪府岸和田市との地域連携推進協定にもとづき、平成18年4月、岸和田市立浪切ホール(現南海浪切ホール)に岸和田サテライトを開設しました。本学が有する高等教育機能を活用して、社会人のスキルアップや地域発展のニーズに即した大学院科目・学部科目を開講しているほか、専門性豊かな生涯学習の拠点として、一般市民を対象にした無料公開講座「わだい浪切サロン」や講演会も実施しています。

【学部開放授業】 フィールドワークや実習を取り入れた科目を開講



フィールドワークの様子



授業の様子

【大学院経済学研究科授業】 現代社会・地域課題に沿ったテーマを開講



大学院授業の様子①



大学院授業の様子②

【わだい浪切サロン】



無料公開講座

【講演会】



「岸和田サテライト友の会」講演会

2. 2つの受講制度

和歌山大学には、社会人等を対象とする「大学院科目等履修制度」と「学部開放授業受講制度」があります。

令和4年度前期に岸和田サテライトで受講できる制度の概要は以下のとおりです。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、遠隔授業(オンライン授業)で開講する場合があります。
それに伴うパソコン・WEBカメラ・マイクの他、インターネット環境等は各自でご準備ください。

	大学院科目等履修制度	学部開放授業受講制度
区 分	大学院科目等履修生	学部開放授業受講者
資 格	大学を卒業した者または学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者	18歳以上（高校生は除く）
選 考	願書および履歴書等による選考	なし（年齢確認のみ）
成績評価	あり	なし
単位認定	あり (成績評価において合格した科目ごとに所定の単位が与えられます。)	なし
費 用	検定料 5,000円 入学料 10,000円 授業料 14,400円（1単位につき） ※現在、履修可能期間中の方は、授業料のみ。	聴講料 11,000円（1科目） ※現在、登録期間中の方は10,000円（1科目） ※2022(令和4)年度より登録料は廃止されました。それに伴い初回聴講からの4年間を「登録期間」として以降の登録料を免除する制度は廃止になり、聴講料は11,000円(1科目)となりました。 <u>ただし登録期間の残期間がある学部開放受講生については、有効期限までは今までどおりとし、聴講料は10,000円(1科目)となります。</u>
経済学研究科修士課程への進学	【詳しくは、経済学研究科修士課程学生募集要項をご覧ください。】 科目等履修生として修得した単位は、入学後に修得した単位として18単位まで認められる場合があります。	/
そ の 他	サテライトの授業は、土曜日および平日夜間を中心に行います。 栄谷キャンパスおよび南紀熊野サテライトにも、科目等履修生として履修できる経済学研究科修士課程の授業科目があります。	/

●大学院科目等履修制度とは

【概要】

- 大学院(経済学研究科)の授業を土曜日および平日夜間を中心に、原則南海浪切ホールで開講します。
- 入学資格は、大学を卒業した者または学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、書類審査等による選考があります。
- 科目等履修生として、大学院授業受講後に合格判定を受ければ、所定の単位を修得できます。
- 栄谷キャンパスおよび南紀熊野サテライトで開講される大学院授業についても、科目等履修生として受講できます。
(詳しくは、学務課学部支援室経済学部係までお問い合わせください)
- 1学期毎に履修申請が必要です。

〈問い合わせ先〉

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 学務課学部支援室 経済学部係	〒640-8510 和歌山市栄谷930	073-457-7805 ecogakumu@ml.wakayama-u.ac.jp

【修士課程(経済学研究科)への進学】 ※詳しくは、経済学研究科修士課程学生募集要項をご覧ください。

○既修得単位認定制度

本学大学院修士課程(経済学研究科)に入学した場合、本研究科開講の科目等履修生として修得した単位は、18単位を上限として認められることがあります。

●学部開放授業受講制度とは

【概要】

- 学部開放授業(連携展開科目)を原則土曜日に南海浪切ホールで開講します。18歳以上(高校生は除く)であれば聴講申請できます。試験等による成績評価や単位認定もないため、関心のある授業を気軽に受講できます。
- 令和4年度前期より申請制度が変更されました。(登録料制度の廃止)

【受講可能期間】

- 2022(令和4)年度より登録料は廃止されました。それに伴い初回聴講からの4年間で「登録期間」として以降の登録料を免除する制度は廃止になり、聴講料は11,000円(1科目)となりました。
ただし登録期間の残期間がある学部開放受講生については、有効期限までは今までどおりとし、聴講料は10,000円(1科目)となります。

II. 大学院科目等履修生の募集

1. 出願および履修願の手続き

●募集科目

科目名、授業内容、開講日時等については、9～12ページをご参照ください。

※この募集要項に掲載のシラバスは後日変更となる可能性があります。正式なシラバスは和歌山大学のホームページから確認してください。また、他の開講科目の開講日と重複する場合がありますのでご注意ください。

※令和4年度前期の授業は対面授業を予定しておりますが、大阪府下において、府(県)域を超える移動の自粛が要請されている場合、教員の出講を取りやめ、遠隔(オンライン)授業での対応とします。

また、教員が新型コロナウイルス感染症に罹患または濃厚接触者となり、自宅待機等の措置が必要となった場合については、当該授業日程を延期、もしくは当該日の授業を休講として補講とします。

(オンライン授業に切り替わった際に必要な受信端末やネット環境等は各自で準備してください。)

※経済学研究科は改組に伴いプログラム制となっています。進学希望の方は、出願前に修了要件等について問い合わせ先までご照会ください。(P.5 ●出願先・問い合わせ先をご覧ください。)

※各授業では、授業内容を録画することがあります。

●募集人数

各科目とも、若干名

●出願期間

令和4年2月21日(月)～2月28日(月)(必着)

●出願方法

【新規に出願される方】

学務課学部支援室経済学部係に「令和4年度和歌山大学大学院科目等履修生出願要項」をご請求のうえ、出願してください。

○入学資格

大学を卒業した者または学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。

詳しくは、学務課学部支援室経済学部係までお問い合わせください。(P.5 ●出願先・問い合わせ先をご覧ください。)

【現在、科目等履修生の方】

A. 履修可能期間中の方

○出願書類

- 「履修願」(用紙㊦)

「科目等履修生履修可能期限証(カード)」のコピーを所定の位置に貼付してください。

- 返信用封筒(結果通知用)

角形2号封筒に簡易書留料金の切手(～100gまで)を貼付し、住所・宛名を記載してください。

B. 有効期限が2022年3月31日の方

有効期限が2022年3月31日の方は、新規出願者の扱いとなります。

出願書類等を学務課学部支援室経済学部係宛に郵送してください。その際、封筒の表に「岸和田サテライト大学院科目等履修生出願書類在中」と朱書きし、「特定記録」郵便で送付してください。

●選考および結果通知

提出された願書および履歴書等で審査を行います。選考結果は、返信用封筒にて郵送します。合格者には入学手続書類を同封します。

●入学手続期間・手続方法

令和4年3月16日(水)～3月17日(木)(必着)

手続書類を学務課学部支援室経済学部係まで郵送(期限必着)または持参(9:00～17:00 ただし12:00～13:00を除く)してください。詳細は入学手続書類に記載します。

●入学金・授業料

入学金 10,000円

授業料 14,400円(1単位につき)

詳細については、入学手続書類に記載します。

※所定の期日までに納付されなかった場合は除籍となります。(入学手続後のキャンセルについては、入学手続書類を確認してください)

※履修可能期間中の方の費用については、P2「2つの受講制度」をご覧ください。

●その他

- ・出願後、授業科目の開講日時・場所・担当教員等に変更等が生じる場合がありますので留意してください。なお、これらの変更により受講が困難になった場合は、問い合わせ先までご相談ください。
- ・科目等履修生は通学定期の購入及び学割の利用はできません。
- ・障害を有する志願者で履修上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に問い合わせ先までご相談ください。

●出願先・問い合わせ先

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 学務課学部支援室 経済学部係	〒640-8510 和歌山市栄谷930	073-457-7805 ecogakumu@ml.wakayama-u.ac.jp

履 修 願

和歌山大学長 殿

学生番号 _____

氏 名(署名) _____

E-mail. _____

下記の科目を履修したいので、許可くださるようお願いいたします。

記

履修希望科目

希望科目	科 目 名	単位数
<input type="checkbox"/>	労働経済論	1
<input type="checkbox"/>	会社法	1
<input type="checkbox"/>	地域調査法	1
<input type="checkbox"/>	管理会計論	1

(□：該当するものに「✓」を記入してください。)

※有効期限が2022年3月31日以前の方は、学務課学部支援室経済学部係までお問い合わせください。

有効期限(西暦) 20 年 月 日

(科目等履修生履修可能期限証(カード)を参照ください。)

「科目等履修生履修可能期限証(カード)」
のコピー貼付欄

Ⅲ. 学部開放授業受講者の募集

1. 聴講申請の手続き

●聴講資格

18歳以上(高校生は除く)であれば、どなたでも可能です。(受講申請に際しての審査や単位認定はありません。)

●募集科目および募集人数

「地域観光戦略論B」 (15名程度)：授業内容は13ページをご覧ください。

「現代社会の教育課題 ～在住外国人の現状と課題～」 (15名程度)：授業内容は14ページをご覧ください。

「SNSと子どもの世界」 (15名程度)：授業内容は15ページをご覧ください。

※この募集要項に掲載のシラバスは後日変更となる可能性があります。正式なシラバスは和歌山大学のホームページから確認してください。また、他の開講科目の開講日と重複する場合がありますのでご注意ください。

※令和4年度前期の授業は対面授業を予定しておりますが、大阪府下において、府(県)域を超える移動の自粛が要請されている場合、教員の出講を取りやめ、遠隔(オンライン)授業での対応とします。

また、教員が新型コロナウイルス感染症に罹患または濃厚接触者となり、自宅待機等の措置が必要となった場合については、当該授業日程を延期、もしくは当該日の授業を休講として補講とします。

(オンライン授業に切り替わった際に必要な受信端末やネット環境等は各自で準備してください。)

※各授業では、授業内容を録画することがあります。

●聴講申請方法

1. 申請の仮登録

岸和田サテライトHPの下記のフォームより仮登録を行ってください。

仮登録フォームURL：<https://sites.google.com/view/wadaikishiwada/>

登録期間：令和4年2月21日(月) 10:00～3月23日(水) 17:00まで

※先着順となるため、募集人数を超えた場合は受講できませんのでご注意ください。

(QRコードを
お使いください)



2. 聴講料の納入

受講が可能になった方から、岸和田サテライトより申請書と振込方法(振込依頼書またはATM・ネットバンキングによる方法)を記載した書類をメールにて送付しますので聴講料をお振込みください。なお、振込後の返金はいたしかねます。

3. 申請書類の提出

金融機関などで振込依頼書またはATM・ネットバンキングにより振込後、振込金受付証明書を貼付(ATM・ネットバンキングによる振込の場合は振込金額が分かる書面コピーを添付)のうえ学部開放授業聴講申請書を和歌山大学岸和田サテライト宛に郵送してください。その際、封筒の表に「学部開放授業書類在中」と朱書きして「特定記録」郵便で送付してください。

提出期間：令和4年2月28日(月)～3月30日(水)(必着)

※持参による申請書提出は、3月30日(水)に限り受け付けますが、事前に岸和田サテライトまでご連絡ください。

※3月30日(水)までに聴講料の納入と、申請書類の提出のいずれかを欠く場合には受講できませんのでご注意ください。特に郵送する場合は、郵送期間を考慮に入れて期限までに必着する必要があります。

4. 参考

※2022(令和4)年度より登録料は廃止されました。それに伴い初回聴講からの4年間を「登録期間」として以降の登録料を免除する制度は廃止になり、聴講料は11,000円(1科目)となりました。

ただし登録期間の残期間がある学部開放受講生については、有効期限までは今までどおりとし、聴講料は10,000円(1科目)となります。

※改定があった場合は、改定後の金額とします。

●受講通知

申請期間の終了後、授業の案内を送付します。

●フィールドワークについて

交通費など諸費用については、各自のご負担となります。

またフィールドワークに伴う保険料をご負担いただく場合があります。

●問い合わせ先

仮登録後、7日以上過ぎても岸和田サテライトから電子メールが届かない場合は、下記の窓口までお問い合わせください。

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 岸和田サテライト	〒596-0014 岸和田市港緑町1-1 南海浪切ホール2 F	072-433-0875 (faxも同じです) kishiwadastaff@ml.wakayama-u.ac.jp

※開室時間 9:00~17:00 (日曜・月曜・祝日は休み)

IV. 令和4年度前期 岸和田サテライト開講授業

1. 大学院授業科目

授業科目名 (英語表記)	労働経済論 (Labor Economics)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	岡田 真理子		
開講	岸和田サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回：7月9日(土) 13:00～17:00	第3回：8月6日(土) 13:00～17:00	
	第2回：7月23日(土) 13:00～17:00		
<p>【授業の概要・ねらい】 雇用・労働に関する問題を考えるための労働経済に関する理論を理解し、そのうえで現実に起きている雇用・労働に関わる問題について理論の理解を踏まえて考察する。</p> <p>【授業計画】 第1回（7月9日）：労働市場の理論的枠組(1) ・労働需要と労働供給 ・労働市場の構造と労働移動 予習課題：事前に課される課題について、各回の指示に従って対応すること。 復習課題：各回に課される事後課題について、指示に従って対応すること。</p> <p>第2回（7月23日）：労働市場の理論的枠組(2) ・失業のタイプと失業対策 ・失業対策 予習課題：事前に課される課題について、各回の指示に従って対応すること。 復習課題：各回に課される事後課題について、指示に従って対応すること。</p> <p>第3回（8月6日）：現代日本における労働問題 ・正規雇用 ・非正規雇用 ・非雇用労働 予習課題：事前に課される課題について、各回の指示に従って対応すること。 復習課題：各回に課される事後課題について、指示に従って対応すること。</p> <p>【到達目標】 日本の雇用・労働問題について制度的・歴史的観点から理解を深め、問題点について積極的に議論できる。</p> <p>【成績評価の方法・基準】 第1回～第3回の事前課題：各8点、計24点 第1回～第3回の事後課題：各14点、計42点 最終確認試験：34点</p> <p>【教科書】 授業ごとに資料を配布する。</p> <p>【参考書・参考文献】 永井仁「労働と雇用の経済学」中央経済社 2017年 兵藤つとむ「労働の戦後史」上・下 東京大学出版会 1997年 小池和男「仕事の経済学」第3版 東洋経済新報社 2005年</p> <p>【履修上の注意・メッセージ】 事前課題と事後課題があります。成績評価に関わるため、必ず取り組むこと。</p> <p>【履修する上で必要な事項】 授業資料をMoodle配布します(紙による配布は行いません)。授業にPCを持参したほうが利便性が高いです。 PCを持参しない場合には必ず授業資料を印刷して持参してください。</p> <p>【授業時間外学修についての指示】 本講義の授業計画に沿って準備学習と復習を行うこと。さらに授業内容に関連する事項の調査・考察を含めて毎回の授業ごとに自主的な学習を求める。</p> <p>【履修を推奨する関連科目】 社会政策</p>			

授業科目名 (英語表記)	会社法 (Company Law)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	清弘 正子		
開講	岸和田サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回：4月21日(木) 18:00～21:00	第3回：5月26日(木) 18:00～21:00	
	第2回：5月12日(木) 18:00～21:00	第4回：6月9日(木) 18:00～21:00	
<p>【授業の概要・ねらい】 報告および議論の形式により会社法に関する判例・演習問題についての検討を行い、これを通じて会社法制についての理解を深める。</p> <p>【授業計画】 第1回：4月21日(木) 第2回：5月12日(木) 第3回：5月26日(木) 第4回：6月9日(木) 各18:00～21:00 (180分×4回 うち合計45分間の休憩含む)</p> <p>【到達目標】 ・会社法に関する判例について、会社法に対する理解に基づいて解説することができる。 ・会社法に関する判例について、会社法に対する理解に基づいて論理的な議論をすることができる。</p> <p>【成績評価の方法・基準】 報告内容および討論への参加状況・貢献により、総合的に評価を行う。</p> <p>【教科書】 ・神作裕之ほか編「会社法判例百選 第4版」(別冊ジュリスト254号)、2021年 ・最新版の六法(「ポケット六法」有斐閣 等、小型のもので良い)</p> <p>【参考書・参考文献】 ・江頭憲治郎「株式会社法 第8版」有斐閣、2021年、978-4-641-13865-0 ・田中亘「会社法 第3版」東京大学出版会、2021年、978-4-13-032394-9 等</p> <p>【履修上の注意・メッセージ】 ・第1回目の講義開始前に各自の報告のテーマおよび日程を決定します。下記「その他連絡事項」にしたがって連絡してください。 ・やむを得ず欠席・遅刻する場合には、事前に連絡のこと。なお、報告担当者の無断欠席は、履修放棄とみなします。 ・議論に積極的に参加してください。 ・会社法に関する学部レベルの知識を既に有することを前提に、講義を行います。</p> <p>【履修する上で必要な事項】 会社法に関して、最低限、学部レベルの知識を有すること。</p> <p>【授業時間外学修についての指示】 毎回、報告者による報告とそれについての議論をしますので、受講者は、それぞれ次の準備をすること。 (1)報告者：報告準備をし、レジュメを作成する。 (2)それ以外の受講生：当日報告される判例について、議論に参加することができるよう、十分に予習をすること。</p> <p>【履修を推奨する関連科目】 「商法」「企業組織法」</p> <p>【その他連絡事項】 第1回目の講義開始前に各自の報告のテーマおよびスケジュールを決定します。 ・教科書「会社法判例百選」から報告したいテーマを第2希望まで選び、4月11日(月) 18:00までに、メールでkiyohiro@wakayama-u.ac.jpまで連絡してください。重複等の調整をします。</p>			

授業科目名 (英語表記)	地域調査法 (Method of Regional Survey)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	藤田 和史		
開講	岸和田サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1・第2回：5月27日(金) 18:00~21:00	第5・第6回：6月10日(金) 18:00~21:00	
	第3・第4回：6月3日(金) 18:00~21:00	第7・第8回：6月17日(金) 18:00~21:00	
<p>【授業の概要・ねらい】 この授業は「地域とはどのようなものであり、当該地域の状況はどうかを質的・量的に把握した上で、結果をどのように解釈して、その地域をどう認識するか」という一連のプロセスにかかる能力を涵養することを目指します。そのために、地域論の学習を基礎に、状況認識のための方法論を学びます。そして、その結果の解釈について議論しながら、事例とする地域の認識を深めるトレーニングを行います。</p> <p>【授業計画】 第1回（5月27日）：地域研究と地域認識 第2回（5月27日）：地域をいかに認識するか(1) 量的情報の探索 第3回（6月3日）：地域をいかに認識するか(2) 量的情報の分析法 第4回（6月3日）：地域をいかに認識するか(3) 質的情報の探索法 第5回（6月10日）：地域をいかに認識するか(4) 質的情報の分析法 第6回（6月10日）：地域調査の設計 第7回（6月17日）：地域調査演習 第8回（6月17日）：地域調査演習</p> <p>【到達目標】 1. 地域論の系譜を説明できる。 2. 地域調査のための方法論を説明できる。 3. 具体的な地域を対象に、地域調査を設計できる。 4. 地域調査の結果に基づいて、ある地域について様態を解説できる。</p> <p>【成績評価の方法・基準】 授業中の小課題(30%)と最終レポート課題(70%)で評価します。</p> <p>【教科書】 初学者も多いため、下記のことをテキストに指定します。 野間晴雄ほか編著 2017. 「ジオ・パルNEO 地理学・地域調査便利帳(第2版)」海青社.</p> <p>【参考書・参考文献】 代表的なものとして、以下を紹介します。 村山祐司編 2003. 「地域研究」朝倉書店. 藤原建蔵編 1997. 「地域研究法」朝倉書店.</p> <p>【履修上の注意・メッセージ】 岸和田サテライトでの開講になります。また、夜間の授業になります。 授業時間外での作業が必要になります。積極的な参加を期待します。</p> <p>【履修する上で必要な事項】 BYODのPCを持参してください。</p> <p>【授業時間外学修についての指示】 授業時間外にデータの収集などの授業時に指示した課題(調査・作業)に取り組む必要があります。 また、事例とする地域に関する文献を精読する必要があります。</p> <p>【履修を推奨する関連科目】 地域解析演習など</p>			

授業科目名 (英語表記)	管理会計論 (Management Accounting)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	藤原 靖也		
開講	岸和田サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回：6月24日(金) 18:00～21:00	第3回：7月15日(金) 18:00～21:00	
	第2回：7月1日(金) 18:00～21:00	第4回：7月22日(金) 18:00～21:00	

【授業の概要・ねらい】

管理会計の目的は組織戦略の実現にある。そのためには、経営者・管理者に適切な情報を提供するシステムを整えることに加え、各組織構成員が管理会計情報を活用しそれらの仕組みを適切に運用出来なければ戦略の実現はあり得ない。本講義では上述の視点に立ち、広く戦略実現のためのシステムーすなわちマネジメント・コントロール・システムーについて学修することで、管理会計が経営や戦略に及ぼす影響を深く検討できるようになることを目的とする。管理会計論を通じ、戦略と制度設計・測定と評価・人的資源管理などの経営のより一般的な問題についても検討できるようになることを目指す。

【授業計画】

第1回（6月24日）：管理会計論の命題と導入上の課題

管理会計論は何を検討する学問であるのかを教示したのち、その導入に関しどのような課題があるのかに関しケースを交え議論を行う。

第2回（7月1日）：戦略マネジメントとしてのBSC

測定による管理の意義につき検討したのち、戦略マネジメントのツールとしてのBSCにつきケースを検討しつつ議論を行う。

第3回（7月15日）：活動基準原価計算・活動基準管理(ABC/ABM)の概要と効果

ABC・ABMの概要とそれが戦略マネジメントにもたらす効果について検討する。

第4回（7月22日）：原価企画、サービス組織のマネジメントおよび本講義のまとめ

戦略マネジメントに関する様々なアプローチや課題を議論したうえで、本講義のまとめを行う。

【到達目標】

管理会計が組織戦略の実現に果たすべき役割を修得するとともに、管理会計システムが抱える課題につき議論できるようになることを目的とする。

【成績評価の方法・基準】

- (1) 講義への貢献度・プレゼンテーションファイルの内容(30%)
- (2) 各回のレポート評価(40%)
- (3) 最終レポート課題(30%)

上記(1)(2)(3)により評価する。うち、(1)についてはプレゼンテーションファイルのレベルに合わせ評価する。(2)については各回に提出されたレポート課題の総点数(各回100点満点)を加重平均し、総点数の40%になるよう評価する。(3)については提出されたレポートのレベルに応じ評価する。なお、当該レポート課題の提出は単位の認定要件であり、最終レポート課題を指定した期日までに提出しない場合、単位は認定しない。

【教科書】

適宜紹介する。

【参考書・参考文献】

適宜紹介する。

【履修上の注意・メッセージ】

学術的・実務的な批評・議論が講義の中心となることに留意すること。

【履修する上で必要な事項】

すでに管理会計の基礎知識を有していることを前提として講義を行うため、知識が不足している者は基本書を用い補っておくこと。

【授業時間外学修についての指示】

事前準備・事前／事後課題をしっかりとこなすこと。

【履修を推奨する関連科目】

原価計算論・経営戦略論

【その他連絡事項】

受講生との相談により講義内容等を変更する場合がある。

2. 学部授業科目

授業科目名 (英語表記)	地域観光戦略論 B (Regional tourism strategy B)		
単位数	1 (学部生のみ)	授業形態	講義・演習
担当教員	藤田 和史、足立 基浩、満田 成紀、竹林 浩志、プロガノ・ニコラス		
開講	岸和田サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回：5月14日(土) 13:00～17:00	第4回：7月2日(土) 13:00～17:00	
	第2回：5月21日(土) 13:00～17:00	第5回：7月16日(土) 13:00～17:00	
	第3回：6月18日(土) 13:00～17:00	第6回：7月23日(土) 13:00～17:00	
【授業の概要・ねらい】			
<p>観光は、「国の光を観る」という語源から、土地の風物・名所を観る行動と考えられてきました。しかし、現在の観光という行動は、語源の意義を含みつつも変化しています、自らの目的意識に基づく観光、風物・名所を観るとともにその背後にある「物語」をも楽しむ観光まで、新たな観光として深化・多様化しています。そして、現在の観光の大きな特徴は、個人の観光行動が広く発信され、それが多数に共有され、新たな観光を誘発するという点です。昨年度は様々な分野から観光の新たな傾向について広く学びました。今年度は、それをもとに、各地のよりローカルな素材を活かした、より地域に密着した観光戦略を具体的に考えてみたいと思います。</p>			
【授業計画】			
<p>第1回【観光と環境】観光を取り巻く環境の変化 竹林 浩志 (観光学部准教授)</p>			
<p>第2回【観光DX】地域観光事例にみるDX戦略 満田 成紀 (戦略情報室教授)</p>			
<p>第3回【文化遺産と観光】観光資源としての巡礼の可能性 プロガノ・ニコラス (国際観光学研究センター特任講師) ゲストスピーカー：鶴野 尚樹 (葛城修験日本遺産活用推進協議会)</p>			
<p>第4回【産業観光】綿業遺産を活用した産業観光 藤田 和史 (経済学部准教授) ゲストスピーカー：松下 隆 (大阪産業経済リサーチセンター主任研究員)</p>			
<p>第5回【観光とまちづくり】ポストコロナにおける商業まちづくり 足立 基浩 (経済学部教授) ゲストスピーカー：古井 幹也 (観光学研究科博士課程)</p>			
<p>第6回【まとめ】地域観光戦略を立案する 藤田 和史 (経済学部准教授) ゲストスピーカー：未定</p>			
【到達目標】			
<p>自らが暮らす地域にある観光の元になる素材を発掘できる。素材を活かした観光について、訴求力を持った計画を立案できる。その情報をターゲットに対して効果的に発信できる。</p>			
【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】			
<p>各回の担当者が課す課題(30%)、最終回のグループワークの報告内容(20%)および最終レポート課題(50%)で評価します。</p>			
【教科書】			
<p>特にありません。授業の中で、資料を配布します。</p>			
【参考書・参考文献】			
<p>授業の中で適宜紹介します。</p>			
【履修上の注意・メッセージ】			
<p>グループワーク・ワークショップを含む授業です。観光行政に関わる方の受講・参加を歓迎します。</p>			
【履修する上で必要な事項】			
<p>とくになし。</p>			
【授業時間外学修についての指示】			
<p>配付された資料の精読、および授業で提示された課題に取り組んでもらいます。</p>			
【授業理解を深める方法】			
<p>「アクティブ・ラーニング」実施要項⑧学生による発表をともなう学習、⑩グループワークをともなう学習</p>			

授業科目名 (英語表記)	現代社会の教育課題 ～在住外国人の現状と課題～ (Educational issues in modern society -Current status and issues of foreign residents-)		
単位数	1 (学部生のみ)	授業形態	講義・演習
担当教員	長友 文子		
開 講	岸和田サテライト	区 分	学部開放科目
実施日・時間	第1回：5月28日(出) 13:00～17:00	第3回：7月9日(出) 13:00～17:00	
	第2回：6月25日(出) 13:00～17:00		

【授業の概要・ねらい】

社会のグローバル化とともに、日本に住む外国人は300万人近くまで増えた。近年急増している就労する外国籍の人々も2016年に初めて100万人を突破し、2020年には170万人を超えた。授業では、在住外国人のおかれている現状、彼らが直面している問題、外国につながる子どもたちの現状と問題について学ぶ。外国人への地域の取り組みや教育現場での外国人の学びについて、ゲストスピーカーも交えて意見交換をしながら、課題に主体的に取り組む自立学習を身につけることをねらいとする。

【授業計画】

第1回【5月28日】

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| ①多様な外国人(オールドカマー・ニューカマー) | 長友 文子 |
| ②外国人(ニューカマー)が増えた背景 | 長友 文子 |
| ③岸和田市国際親善協会の活動紹介 | ゲストスピーカー 岸和田市国際親善協会 |

第2回【6月25日】

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| ①日本語で学ぶ留学生 | 長友 文子 |
| ②日本で学ぶ子ども -外国につながる子どもの現状と課題- | 長友 文子 |
| ③外国人の学びの場としての夜間中学 | 非常勤講師 江口 怜 (和歌山信愛大学助教) |

第3回【7月9日】

- | | |
|--|-------|
| まとめと研究成果レポートの発表 | 長友 文子 |
| *コメンテーター 非常勤講師 江口 怜 (和歌山信愛大学助教)、村田 和子 (紀伊半島価値共創出基幹・教授) | |

【到達目標】

- ・在住外国人の実態を理解し、私たちにできることは何かについて考える。
- ・多文化共生社会の担い手として、日本で生活する外国人が直面している諸課題に向けた取り組みを知り、理解する。

【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】

- ・議論への参加や発表(50点)、最終課題レポート(50点)で評価する。

【教科書】

- ・特になし。資料は授業中に配布予定。

【参考書・参考文献】

- ・必要に応じて提示する。

【履修上の注意・メッセージ】

- ・社会人と共に学ぶ意欲のある学生を期待します。

【履修する上で必要な事項】

- ・すべての講義を受けないと、最終レポートを作成することは難しいので、必ず、全講義出席してください。

【授業時間外学修についての指示】

- ・講義内で紹介する参考文献や書籍を読んでください。

授業科目名 (英語表記)	SNSと子どもの世界 (Social Networking Service and the world of children)		
単位数	1 (学部生のみ)	授業形態	講義・演習
担当教員	豊田 充崇		
開講	岸和田サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回：7月23日(土) 13:00～17:00	第3回：8月20日(土) 13:00～17:00	
	第2回：7月30日(土) 13:00～17:00		

【授業の概要・ねらい】

スマートフォン所有の低年齢化が進み、小学生からSNSでのメッセージのやりとりやオンラインゲームが当たり前の時代となりました。また、コロナ禍の対応としてGIGAスクールが全面前倒し実施となり、小学校1年生から中学校3年生まで、学校での「タブレット一人一台体制」が一気に整いました。しかしながら、これらに伴う問題も多発していることは事実です。SNS利用から見え隠れする、現在の子どもの心理状況とはどういったものなのでしょうか。SNS利用に関する家族間・友人間でのトラブルはもとより、オンラインゲーム等への依存症に至るまで、これまではなかった新たな課題への対応が迫られているのです。

そこで、当講義では、子どもたちのSNS利用の実態・諸問題を理解した上で、その対応策について学び、提案していけることを目指します。

【授業計画】
第1回【講義・情報モラル教材体験等】

SNSと子どもの世界(現状と課題)／ネットワークコミュニケーションの実態

第2回【講義・ワークショップ】

SNSと子どもの成長 ～学校・家庭・地域でのかかわり～

※ゲストスピーカーを招聘 (予定：岸和田市教育委員会学校教育部学校教育課職員)

第3回【講義・ワークショップ・提案プレゼン】

Society5.0時代の子どもの教育 (これからの社会と子どもたち)

【到達目標】

子どもたちのSNS利用の実態や問題点を理解するとともに、子どもの成長における学校・家庭・地域のかかわりの重要性やそのあり方についての考えを持つ。また、これからの社会で子どもたちに必要な情報リテラシーについての提案ができるようになる。

【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】

毎回のショートレポートによる講義内容の理解(50点)／最終レポートによる講義内容の理解と提案性(30点)／演習時における意見の発信やプレゼンテーション(20点)

【教科書】

なし (講義毎に講義資料を準備する)

【参考書・参考文献】

・「スマホ依存にむけた学校の対応」 <https://www.sky-school-ict.net/ite/infotech-education/200626/>

【履修上の注意・メッセージ】

講義中にウェブサイト上の資料にアクセスする場合がありますので、可能な限り、スマートフォンもしくはPCを持参してください。PCの場合、FreeWi-Fiなどを利用してインターネットに接続します。

【授業時間外学修についての指示】

レポートの作成等で、ウェブサイト上の各種資料にアクセスして考える場面もありますので、可能な限り、PCもしくはスマートフォンにてインターネットに接続できる環境を準備してください。

〈新型コロナウイルスへの対応について〉

新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて、本募集要項に記載の日程・内容等が変更される可能性があります。

詳しくは、和歌山大学岸和田サテライトホームページで確認してください。

<http://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/kishiwada/>

〈気象警報発表時・交通機関運休時等の授業取扱について〉

岸和田市に「暴風警報」または「大雨警報」、「大雪警報」が発表若しくは「南海本線」「JR阪和線」の両線が運休等した場合は、その期間中の授業は休止となります。

詳しくは、和歌山大学岸和田サテライトホームページで確認してください。

<http://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/kishiwada/>

〈個人情報の取り扱いについて〉

本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人和歌山大学における個人情報の保護に関する規程」等に基づき、厳密に取り扱います。